



「准看護師」と「生活保護」を考える

上智大学 文学部新聞学科教授 水島宏明
hiroakimizushima@sophia.ac.jp

1

戴帽式(札幌市医師会准看学校)

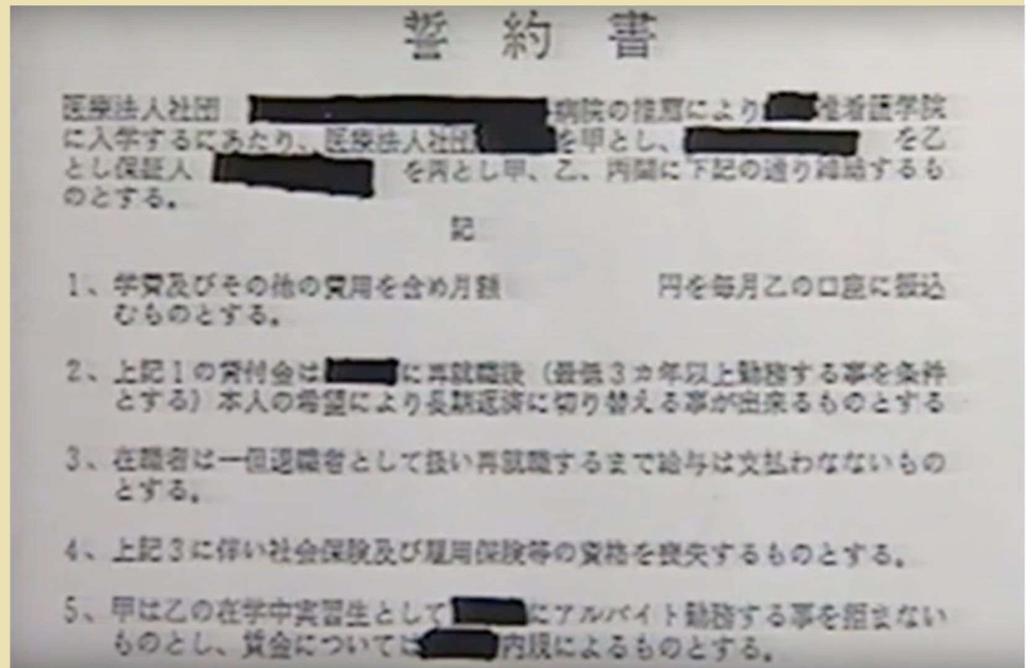


【参考】「天使の矛盾～さまよえる准看護婦～（1997）」 0:00～2'44

<https://youtu.be/nuNssrLY2SA>

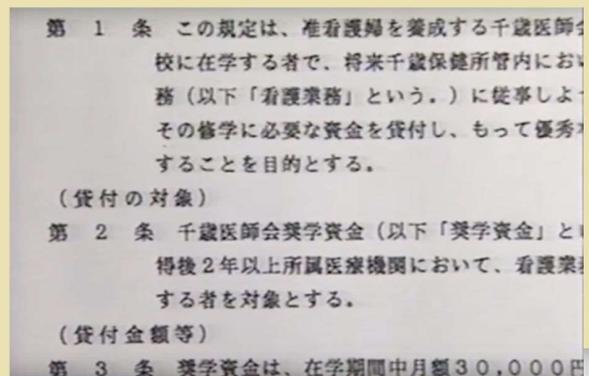
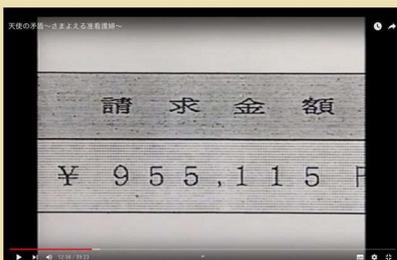
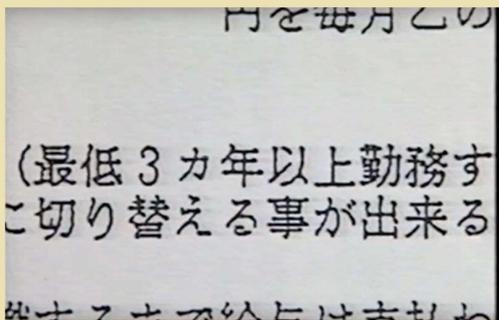
2

各地で見つかった違法な「契約書」「誓約書」 9'30~13'25



3

「お礼奉公」の期間や違約金もまちまち...

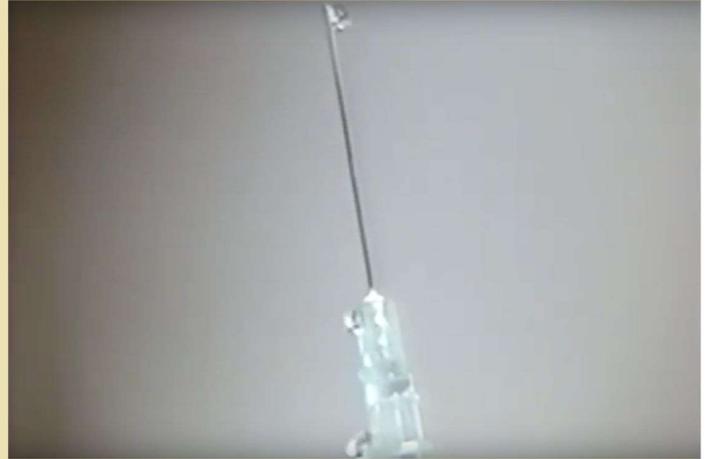


(金貳百万円)

4

准看学生（看護助手）なのにひとり夜勤や無資格医療行為をするケースも・・・

13'40~18'40



5

准看学生が医療ミスで罪に問われるケースも・・・



6

切実な実態が綴られていた

二回休のついで
注射・与薬

御礼(奉公)
た

ことが出来る!!」
余計に たたがれ
毎日毎日 思っ

苦小牧にもこのよ
うな
どうか お願いし
ます。
どうか 助けて下
さい!

9

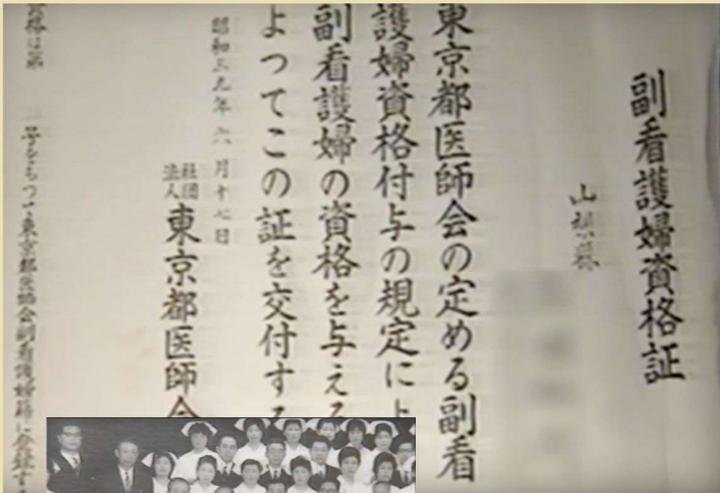
苦小牧市医師会准看学校の授業



もう 限界です

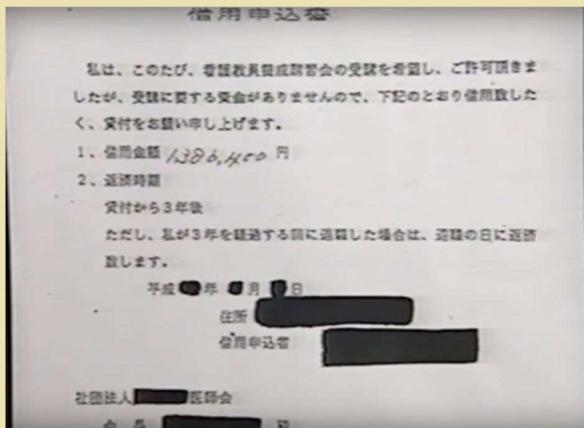
10

「知られざる看護職員養成」の歴史



11

学生を守るはずの准看学校の教員たちも…借金で縛られる「お礼奉公」



12

国（厚生省＝当時）が実態調査と制度見直しを検討開始（厚生省准看護婦問題調査検討会）



13

「21世紀初頭の早い段階（2005年まで）に准看の養成を停止」と看護課長が明言



51'00~54'00

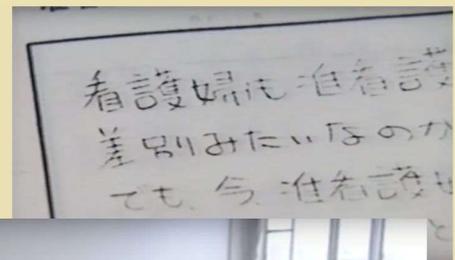
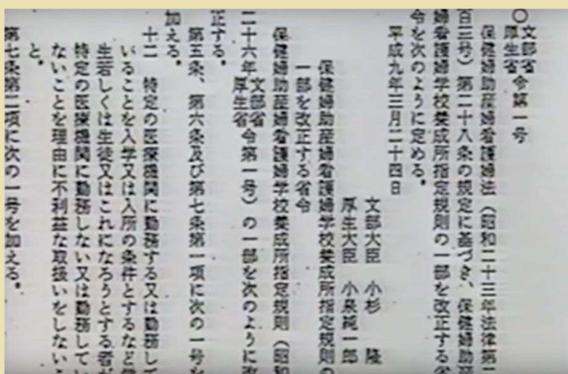
14

「21世紀初頭の早い段階に准看の養成を停止」・・・全員一致したはずが医師会の抵抗で今も存続



「賛成した覚えはない・・・」

厚生省（当時）の働きかけで「勤務」と「学校」は別、とされたが・・・



報道キャンペーン 「お礼奉公」の情報は、当事者が寄せてくれた！

「お礼奉公」のキャンペーン（北海道内）は1993-1998まで約5年間続いた

地方テレビ局発の“情報”が、NHKや民放キー局も把握していない様々な「問題」を浮かび上がらせた
（看護婦の問題はフジテレビにいた黒岩祐治キャスター＝現・神奈川県知事も問題視）



テレビ番組で「情報提供」を呼びかけて、寄せられた情報を元に背景を明らかにする「調査報道」
証言・実例を集めて、国に問うスタイルの報道



実は「当事者の声」を集める手法→1987年に「生活保護」の水際作戦をめぐる経験していた

17

“生活保護”をめぐる“ジェンダー問題”

- 1987年 「札幌母親餓死事件」
 - 「水際作戦」の全国的な広がり
 - シングルマザー（母子家庭の母親）の問題 圧倒的多数が女性たち
女性が子育てをするのを当然視する社会
 - 福祉事務所との**圧倒的に不均衡な力関係** 「女だったら困ったら身体を売ってでも働けるはず」
「セクハラ」も頻発
- ★「生活保護」の問題→非正規・不安定 労働が多いetc女性の貧困

【参考】 「母さんが死んだ～『生活保護』の周辺～」（1987）
<https://youtu.be/WGrNMJbkI8Q>

18

“看護”の世界の“ジェンダー問題”

- 圧倒的多数が女性たち
- 医師（開業医）が「（准看学生を）養ってやっている」という男社会の“上から目線”の意識
- 「働きながら学ぶ」という、美しく見える言葉のマジック = 低賃金・長期労働を正当化する搾取
- 当事者に犠牲を強いる精神 = “やりがい”の搾取 — 「教師」と似た構図
- それでも看護職員の確保が困難な現状 → 奨学金などを貸し付ける契約＝“お礼奉公”契約で縛る
- 圧倒的に不均衡な力関係 「セクハラ」も頻発

19

准看学生が准看護師になったら生活保護の世帯分離廃止…

「長洲事件」をどう見るべきか？

- 「世帯分離」は子ども・若者の将来を考慮した方便だったのに… 2 審で除外
 - 「働きながら学ぶ」のますますの困難 困難の渦中にある当事者への行政などの冷淡さ
当事者が過度に負担なく未来の職業選択ができる社会をめざすべき
 - 「法律」をめぐる最近のドラマが教えてくれること
↓
「立法」「憲法」の精神に立ち返ること
- (1) ドラマ「向こう岸」
生活保護法2条 “無差別平等”の原則
 - (2) ドラマ「虎に翼」
憲法14条 すべて国民は、法の下に平等

20

生活保護問題で活動する関係者の間でもあまり知られていない「長洲事件」

特に「働きながら学ぶ」という准看制度やその延長の看護師の「進学コース」はわかりにくい

この「わかりくさ」をどう解消するか？ 看護職を志す若者が「貧困」でも道を拓けるように…

「生活保護」でも「准看問題」でも相手側（行政や開業医）もそれぞれの「正義」で感情的に判断・行動

ドラマ「不適切にもほどがある」＝“昭和”では普通の言動 → “令和”ではハラスメント

令和の時代には許されない！

役所側も、ある種の「正義」を貫こうと壁ドンドンで相手を追いつめたが、それは現在では「不適切」

そうした「時代」の変化や常識も考えていくことが必要！

21



「患者のために…」という若い人たちの献身的な気持ちを大切にする社会をどう作るか

そのためにも、メディアでどう訴えるか、社会にどう訴えるか

それが問われる

★ ご清聴ありがとうございました！

22